

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ③」

- 1 趣 旨 自然体験を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年8月12日（金）～13日（土） 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや海浜活動など、自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族60人
- 5 参 加 者 14家族50人（応募数：28家族118人）
※（追加1人、キャンセル1人）
- 6 指 導 者 講師：内祥一郎 学芸主事（鹿児島県立博物館）
国立大隅青少年自然の家職員 ボランティア1人

7 日程と主な活動

8月12日（金）	8月13日（土）
14:00 受付（新城海の家）	6:00 起床
14:30 出会のつどい 歓迎のあいさつ 家族紹介 自然の家職員・ボランティア紹介 オリエンテーション	6:45 朝のつどい 7:00 朝食「カートンドッグ」 9:30 活 動「スノーケリング体験」 in荒平
15:00 テント設営	11:30 アンケート
16:00 野外炊飯「バーベキュー」	11:50 別れのつどい 送別のあいさつ ボランティア感想発表
19:30 入 浴	12:00 解 散
20:00 星座観察「ペルセウス座流星群観察」	
21:30 花 火	
22:00 消 灯	

8 事業運営について

- (1) 海浜施設・新城海の家を利用して、テント泊及び海の活動をメインにしたファミリーキャンプを7月、8月、9月に1回ずつ計画し、実施することとした。
- (2) 8月のファミリーキャンプでは、「ペルセウス座流星群観察」と「スノーケリング体験」と新たな内容が加わったため、定員を上回る応募人数となった。
- (3) 今回は、「ペルセウス座流星群観察」ということで、鹿児島県立博物館の内祥一郎学芸主事を講師にお招きして、講話及び演習を実施することとした。



9 事業の実際

- (1) オリエンテーションの後、家族ごとに家族紹介を行った。ファミリーキャンプに初めて参加される家族もあり、緊張気味ではあったが、温かい雰囲気の中で家族紹介ができた。また、今回のキャンプに対するそれぞれの家族の思い等も聞くことができた。
- (2) テント設営では、職員の説明の後、2家族のグループを作り、グループごとにテントを立てるようにした。家族同士で声かけ合って協力して立てることができた。
- (3) 野外炊飯「バーベキュー」でも、2家族のグループでテーブルを共有して炊飯の準備を行った。テーブルや釜を共有して行ったことで、家族間での声かけや協力する場面が多く見られ、楽しい雰囲気の中で炊飯の準備を行うことができた。また、父親同士で協力して、全てのかまどを作ったり、薪を割ったり、火加減をお互いに見合ったりしながら、交流を深めることができた。
- (4) 星座観察「ペルセウス座流星群観察」では、鹿児島県立博物館の内祥一郎学芸主事を講師として講話と演習を行っていただいた。星について詳しく説明していただき、参加者は興味深く話を聞くことができた。
- (5) 2日目の朝食「カートンドッグ作り」では、簡単に調理することができ、美味しくいただくことができた。
- (6) スノーケリング体験では、天気にも恵まれ、透明度が高くきれいな海での活動ができた。参加者も初めての体験に「きれいに海に感動した。またやってみたい。」という感想を聞くことができた。

10 参加者の感想

- 他の家族とも助け合ってテントを立てたりして、自分から進んで手伝いもできたと思う。ありがとうございました。(子供)
- 天文講話では、講師の先生ご自身の写真や動画があり、とても分かりやすかった。素晴らしかった。(保護者)
- 一番下の子が未就学児で少し心配しましたが、家族みんなで楽しむことができました。ありがとうございました。(保護者)

11 成果

- テント設営や野外炊飯など、家族同士での協力が見られたり、片付け等も声かけ合いながら率先して動いていただいたりしたので、ほぼ時間通りに活動を行うことができた。

